

WEINTEK LABS., INC.

時刻をレシピデータベースに保存する

サンプルプロジェクト

目次

1. 概要及び操作.....	1
2. 設定手順.....	3
3. アドレス設定.....	5

時刻をレシピデータベースに保存する

1. 概要及び操作

概要

本例では、時刻を yyyy/M/d_H:mm:ss フォーマットに変更した後、レシピデータに保存する方法を紹介します。

さらなる応用：場合によって、ユーザーはデータサンプリング内でデータを探し出す必要があります。しかしながら、データサンプリングには検索機能を提供していません。この時、ユーザーはデータをレシピデータベースに保存し、レシピデータベースをデータサンプリングとして使用し、検索関数でその中のデータを探し出すことができます。レシピデータベースの詳細に関しては、[EasyBuilder Pro ユーザーマニュアル](#)及び[レシピデータベースマニュアル](#)にご参照ください。

操作

オフラインシミュレーションを実行します。[Save]をクリックすると、1レコードの新しい時刻データがレシピデータベースに新規追加されます。

Save current time into Recipe Database

Year	Month	Day	Hour	Minute	Second	Time (yyyy/M/d_H:mm:ss)
2016	6	4	11	34	23	2016/06/04_11:34:23
2016	6	4	11	34	25	2016/06/04_11:34:25
2016	6	4	11	34	26	2016/06/04_11:34:26
2016	6	4	11	34	28	2016/06/04_11:34:28
2016	6	4	11	34	29	2016/06/04_11:34:29
2016	6	4	11	34	31	2016/06/04_11:34:31
2016	6	4	11	34	34	2016/06/04_11:34:34
2016	6	4	11	34	36	2016/06/04_11:34:36
2016	6	4	11	34	57	2016/06/04_11:34:57

Current Time

Year	Month	Day	Hour	Minute	Second
2016	6	4	11	35	57

SAVE

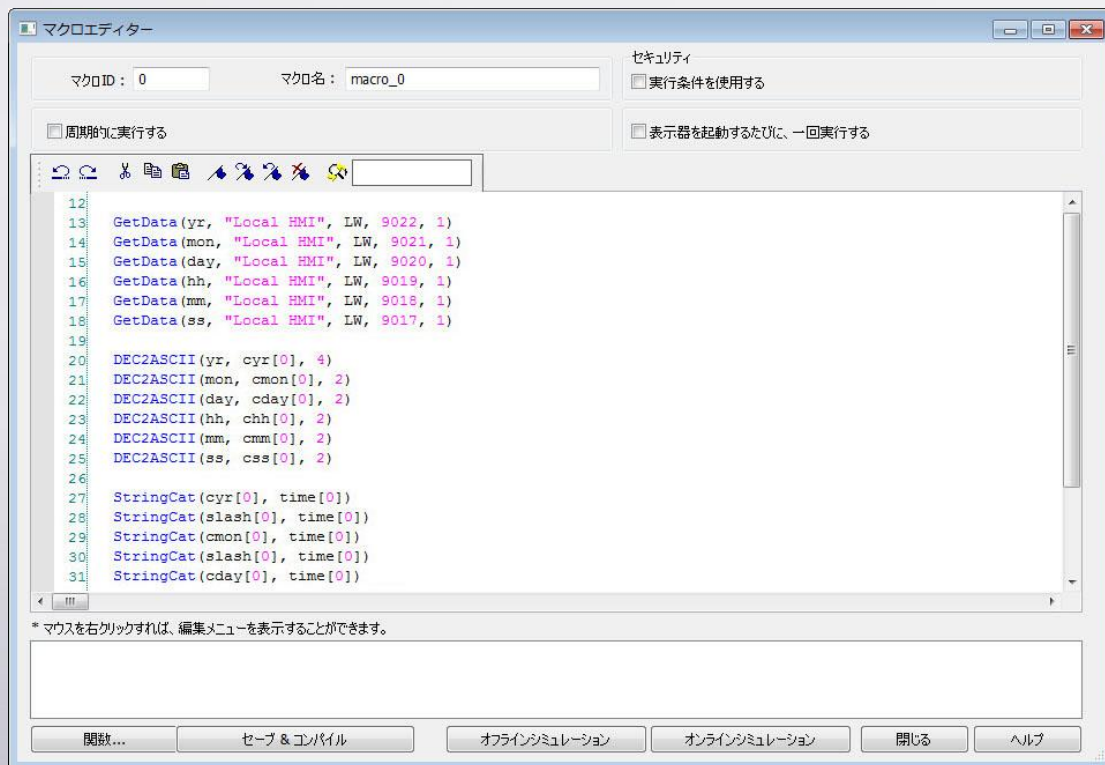
時刻をレシピデータベースに保存する

2. 設定手順

ステップ 1. [システムパラメータ設定] » [レシピ]でレシピを作成します。

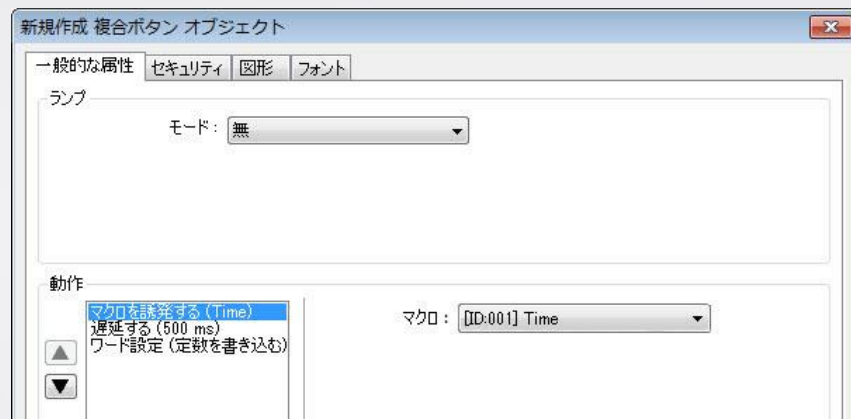


ステップ 2. マクロエディタをオープンし、GetData で RTC の数値を取得し、それに DEC2ASCII でストリングに変換してから、StringCat で全てのストリングを連結します。



時刻をレシピデータベースに保存する

ステップ 3. [複合ボタン] オブジェクトを新規作成し、マクロを誘発して時刻をストリングに変換してから、レシピデータベースの新規追加コマンドを実行し、ストリングをレシピデータベースに保存します。



3. アドレス設定

本例で使用したオブジェクトのアドレスは下記の通りです。実際の需要に応じ、調整してください。

オブジェクト	アドレス	オブジェクト ID	記述
ウインドウ 10			
レシピ閲覧		RV_0	レシピデータを表示する
数値	LW-9022	NE_0	現在の年を表示する
数値	LW-9021	NE_1	現在の月を表示する
数値	LW-9020	NE_2	現在の日を表示する
数値	LW-9019	NE_3	現在の時を表示する
数値	LW-9018	NE_4	現在の分を表示する
数値	LW-9017	NE_5	現在の秒を表示する
複合ボタン	Macro:1, RECIPE-Command	CB_0	マクロを誘発し、データをレシピデータベースに保存する